

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちゃれんじくらぶ 日の出教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 26日		2026年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21家庭	(回答者数) 18家庭
○従業者評価実施期間	2026年 2月 26日		2026年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもたちの状況を保護者様と共有し課題、健康や発達状況について共通理解が出来ています。	送迎時やHUGの生活記録、電話連絡やLINE等で子どもたちの自宅や学校での様子を確認し事業所での行動や変化を細かくお伝えするようにしています。	原因や結果だけを伝えるのではなくそこに至るまでの過程や結果を受けての子どもたちの変化等も保護者様と共有し出来る限り支援方法を統一し同じ方向を向いて支援していけるよう心掛けています。
2	活動プログラムが固定化をしないように工夫しています。	季節のイベントを通して様々な活動が出来るよう工夫しております。また、土曜日や長期休暇期間中のイベントに力を入れ子どもたちが様々な体験を通じて社会性を学んだり興味の幅を広げる活動を行なっています。	職員間で意見交換を行ない支援の質の向上に努め子どもたちが楽しみながらいろいろな経験や学びが自主的に行なえるような内容を取り組んでいきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への周知の面が弱く、不明な点を解決する術が足りていない部分があり今までと異なるやり方の導入の必要がありました。	現時点ではLINEやHUGを通じて活動に関する事等は周知を図っていましたが、それだけでは不十分だった他、利用日数の多くない児童やそのご家庭にはLINEやHUGでのやり取り頻度も少なかった事が考えられます。	今まで通りLINEやHUGを活用しながらSNSの活用や定期的にお便りをお渡しして活動のみならずスタッフや事業所の状況等の周知を行なっていきます。
2	保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会を設け家族への支援は行なっているが、きょうだい向けのイベントは行なっておらずきょうだいへの支援が不十分でした。	保護者様からの相談に対する対応や保護者同士の交流の機会は設けてはいましたが、きょうだい向けのイベントの開催は行なっておらずきょうだいへの支援を考える事が出来ていませんでした。	今後はきょうだい向けのイベントも企画しきょうだいへの支援が行なえるよう交流の機会を設けていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ちゃれんじくらぶ 日の出教室

公表日 2026/4/1

利用児童数 2026/03/20 23名

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	2	見た事がない。	今後保護者様を事業所内お招きする機会を設けるように検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2	0	1	何人いらっしゃるのか把握できていないのでなんとも言えない。	「親子運動会」のような保護者様が一緒に参加される活動の際に全職員で参加していただけるようにしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	2	見た事がない。	今後保護者様を事業所内お招きする機会を設けるように検討していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0	回答無し1名	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0	次月の活動の内容を子供達に考えてもらい取り組みをさせていて、いろいろと工夫されている。	今後も様々な取り組みを通して楽しんでいただけるように工夫に努めていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	2	9	回答無し1名	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	回答無し1名	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	4	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	5	3	保護者会そのものが開催もしくは存在しているのか不明	親子で参加していただける活動を定期的に実施しております。今後も開催をしていくと共に、周知していただけるようにLINEやお便りをお渡ししていきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	2	サービス提供記録に他児童の名前が記録される事があった。	不安を抱かせてしまい誠に申し訳ございません。今後そのような事態が起らぬように職員間で共有していくと共に記入間違いがないように確認を重ねていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	1	2	回答無し1名	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	1	0	回答無し1名	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	回答無し1名	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	「楽しかった」と言って帰宅するか、高学年ということもあり、学校の友達と遊びたい気持ちを優先する事が多くなった。 回答無し1名	今後とも楽しんで通っていただけるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ちゃれんじくらぶ 日の出教室		公表日		2026年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	活動に応じ児童が利用するスペース分けて活動を実施しています。	引き続き、安全面に配慮しながら支援を行ってまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	利用児童の人数に対しての職員の人数は満たした上で状況に応じて柔軟に調整しています。	今後利用児童の多様なニーズに対応する為、状況に応じた工夫や見直しを継続してより適切な支援体制の充実を図ってまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	現時点では対象となる児童がいないためバリアフリー化はされていませんが、児童にわかりやすい環境になっています。	引き続き環境上の配慮を行ないながら支援をしてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	児童の来所する前に全職員で掃除、消毒を行ない心地良く過ごせるように清潔を保っています。	今後も掃除、消毒を徹底し清潔な環境の維持を行なってまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	体調不良を訴える児童や気持ちが落ち着かない児童が落ち着ける環境を整えています。	今後も安心し落ち着いて過ごせる環境作りを行なってまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	社内規定マニュアルに準じ業務を行っており、職員の水準が向上できるように努めています。	引き続き、継続的な業務の見直しを行い改善できるよう努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	アンケートに記載されている保護者様の意向を全職員で共有し討議実践に努めています。	引き続き、保護者様の意向を全職員で共有し大切にしながら業務改善に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	週に1度ミーティングを実施しています。また、業務を行なううえで気になる点が出てきた際は都度ミーティング行ない業務改善に努めています。	今後もミーティングで意見交換を行ないながら業務改善に努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	外部評価は行なっていません。保護者様から意見を尊重し業務改善に努めています。	必要に応じ今後も検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	積極的に参加し支援の向上に努めています。	今後も積極的に参加し職員の資質向上に努めてまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ホームページにて公表しています。	ホームページのみでは認知が低いのでSNSの活用を検討していく他、保護者様へお便りをお渡しして周知していくように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	利用者の状況を聞き取りまた利用時の様子を察・記録し全職員で話し合い計画を作成してまいります。	今後もニーズや、課題に合わせた計画を作成してまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	全職員で議事録の記入を行ない、議事録を元に話し合いを行ない計画作成を行なっています。	今後も情報共有を徹底しミーティングを行ないながら作成してまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	計画は全職員に共有されており朝礼や昼礼時にも計画に沿った活動内容を共有しています。	引き続き情報共有に努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	問題が起きた際に素早く対応出来るようまた、児童の状況を全職員が把握できるよう確認しながら実施しています。	今後もアセスメントを使用しながら確認に努めてまいります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	担当者会議や面談を行なった上で本人や保護者様のニーズに合わせた個別支援計画書を作成しています。	今後も特性や発達状況を踏まえ五領域に沿った支援内容を具体的に設定してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	児童の状況、成長または季節等も踏まえて全職員で考え詳細を決めています。	今後も全職員で話し合い活動のプログラムを立案してまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	児童の状況に合わせ職員間で意見交換を行ない活動の内容を変えています。	今後も意見交換を行ないながら活動プログラム固定化しないよう努めてまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個々活動や集団活動に変化をつけコミュニケーションや集中力、発想力などの得意分野を伸ばせるよう、また苦手なところを少しでも克服できるよう計画を立てています。	今後も児童の状況に合わせて計画を作成し支援を行なっていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼や昼礼を行ない利用人数、送迎担当、支援内容の確認を行ない、その他児童の課題点などの情報を共有し支援を行なっています。	今後も支援内容の確認を行い情報を共有しながら連携して支援を行なっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	送迎終了後、利用児童の状況を伝達し問題点や課題点を話し合い休みの職員にも共有できるように書面化しています。	引き続き振り返りを行ない全職員で共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	利用者の支援、活動内容、状況等連絡帳に記載し保護者様へ報告。送迎終了後にケア記録に入力し全職員で共有し課題点、問題点について話し合いを行なっています。	引き続き徹底して記録を取り課題点などミーティングを行ない改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを実施しています。また学校での様子、自宅での生活状況を確認し支援の内容を見直し計画表を作成しています。	引き続き低域的な見直しを行なっていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	ガイドラインに沿った内容で社会生活を掘り出した支援を行なっています。	今後も基本的な生活習慣や集団性、社会性の獲得を目指した支援を行なっていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	療育内容に「選択活動」を取り入れており児童が自分で決めて取り組めるよう支援を行なっています。	今後も児童の意思決定を尊重した支援を行なっていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議に出席する前に全職員が話し合い会議に参加しています。	引き続き児童発達支援管理責任者や担当者などで参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	4	現在そのような取り組みを行なってはいません。	必要に応じて関係機関との連携を行なえるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	保護者様を通し月の利用日の入力、下校時をお知らせしていただいておりますが、下校時間が分からない場合は時間割での確認を行なってます。トラブルが発生した場合は迅速な対応に努め保護者様や全職員で共有をしています。	引き続き送迎の際に情報共有を行なっていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	保護者様より情報をいただいておりますがその他施設との情報共有等は行なっていません。	今後必要があれば保育所、幼稚園、児童発達支援事業所等との情報共有を検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	該当する児童がいません。	該当する児童の利用があった場合は情報共有を行なっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	積極的に参加しています。	引き続き研修の機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	地域の学校との交流の機会を設けました。	今後も感染症の対策を徹底した上で交流を深めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	参加していません。	今後も必要に応じて参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時に児童の状況説明を行っており保護者様からの要望や相談などをお聞きして全職員共感していきます。	引き続き保護者様からの要望や相談を聞き全職員で共有していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	送迎時に保護者様と情報共有を行ないながら電話やLINEなどで気軽に相談していただける環境作りを心掛けています。	引き続き送迎時や面談等で伝え情報共有を行なっていきます。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に分かりやすく理解しやすい説明を心掛けています。	引き続き分かりやすい説明を心掛け丁寧な説明を行なっていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	契約時に本人や保護者様のニーズを聞きそれに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズが出てきた場合は見直しを行なっていきます。	引き続き意向を確認する機会を設けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援内容の説明を行ない保護者様からの同意を得て署名をしていただいております。	引き続き支援内容の説明を行ない同意を得た上で支援を行なっていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	面談だけでなく必要に応じて電話やLINE等での面談も受け付けており支援方法を提案させていただきます。	引き続き悩みなどに対する相談に応じながら支援を行なっていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	療育を通して実施しています。親子運動会等	今後はきょうだい同士で交流できる内容も考え交流する機会を設けていきます。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった場合は苦情受付、解決担当に繋げ迅速に対応するよう努めています。	今後も迅速かつ丁寧な対応に努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ホームページやブログ、インスタグラムで発信しています。	引き続きホームページやブログ、インスタグラムで発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫で保管し施錠の確認も徹底して行なっています。	今後も個人情報の取り扱いに気を付けて保管していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	連絡帳の活用や送迎の際保護者様へ分かりやすい伝達方法を考え工夫し利用者や保護者様に合わせるよう心掛けていきます。	今後も分かりやすい伝達方法を考え工夫しながら伝達できるよう心掛けていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	参加機会がなく行っていない。	今後も機会があれば参加したいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各マニュアルの研修及び訓練を全職員行なっております。また、マニュアルを見える場所に置きいつでも確認できるようにしています。	引き続き研修や訓練を行なっています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	災害時に備え訓練を実施しています。	今後も定期的に訓練を行なっています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	利用者の情報を確認し何かあった場合は全職員で対応できるよう共有しています。	引き続き全職員で対応できるよう確認を行ない共有していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	事前にアレルギーについて利用者の情報を確認しています。保護者様より服用の指示が或る時は対応後報告しています。	引き続き情報の確認、共有を行ない対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づいた研修や訓練を行なっています。	今後も研修や訓練を行なっています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に非常時の対応について説明を行なっています。	今後も取り組み内容について周知を行ないご家族様と連携を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事例に対して週1回ミーティングを行なっています。休みの職員には後日ミーティングの内容を報告しています。	今後もミーティングを行ない再発防止に努め全職員で共有していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修会で全職員に行なっています。	引き続き研修を行なっています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	対象となる児童はおりませんが身体拘束に関しては利用者本人の生命や身体を保護する為の緊急を要する場合のみである旨全職員共有認識しています。また保護者様には契約時にお伝えしています。	今後も契約時に保護者様へ十分な説明を行なっています。	